



平成 28 年 4 月 22 日

各 位

本社所在地 東京都港区赤坂八丁目 4 番 14 号
 会 社 名 ブロードメディア株式会社
 (コード番号：4347)
 代 表 者 代表取締役社長 橋 本 太 郎
 問 合 せ 先 取 締 役 押 尾 英 明
 経営管理本部長
 電 話 番 号 03 - 6439 - 3983

業績予想の修正、営業外費用及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 5 月 1 日に公表した平成 28 年 3 月期通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、平成 28 年 3 月期通期において、営業外費用（持分法による投資損失）及び特別損失（減損損失）を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期通期 連結業績予想数値の修正

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	13,100	50	—	—	—
今回修正予想 (B)	12,117	71	△198	△1,082	△15.90
増減額 (B-A)	△983	21	—	—	—
増減率 (%)	△7.5%	42.0%	—	—	—
(参 考) 前 期 実 績 (平 成 27 年 3 月 期)	11,918	△1,147	△2,358	△2,580	△39.20

2. 修正の理由

<売上高>

「放送」セグメントは順調に推移し、前回予想を上回る売上高となる見込みです。一方で、「ネットワーク営業」セグメントは新商材の取り扱い開始が遅れ、また「コンテンツ」では、クラウドゲーム事業が想定通りには拡大しておりません。これらの結果、売上高は前回発表予想を下回る見込みとなりました。

<営業損益>

「ネットワーク営業」セグメントでは、売上高の減少が影響したことで営業損失が予想よりも拡大し、「スタジオ」セグメントでは、配給した映画の興行成績やDVD販売が伸びず、営業利益は前回予想を下回る見込みです。一方で、「コンテンツ」セグメントでは、教育事業が好調に推移したことに加え、クラウドゲーム事業において、売上高は伸び悩んだものの費用の抑制を行ったことで、営業損失は予想よりも大幅に縮小される見込みです。

これらの結果、第4四半期連結会計期間（1月～3月）では103百万円の営業利益を計上し、通期では前回発表の予想を21百万円上回り71百万円の営業利益となる見込みとなりました。

<経常損益>

上記の通り71百万円の営業利益を計上する見込みですが、持分法適用関連会社各社の損益を、当社の持分にに応じて取り込んだ結果、営業外費用として持分法による投資損失190百万円を計上いたします。また、支払利息98百万円を計上いたします。これらの結果、第4四半期連結会計期間（1月～3月）では43百万円の経常利益となりますが、通期では198百万円の経常損失となる見込みとなりました。

<親会社に帰属する当期純損益>

下記に詳細を記載しております減損損失435百万円や、貸倒引当金繰入額145百万円（繰入額と戻入額を相殺した額）等の特別損失を総額で584百万円を計上いたします。また、非支配株主に帰属する当期純利益176百万円や主に子会社における税金費用126百万円を計上いたします。これらは経常損益から差し引かれるため、親会社株主に帰属する当期純損失は1,082百万円となる見込みとなりました。

【参考】

通期連結業績予想のセグメント別内訳は以下の通りです。

	売上高			営業利益		
	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B) - (A)	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B) - (A)
合計	13,100	12,117	△983	50	71	21
コンテンツ	2,800	2,003	△797	△305	△178	127
放送	4,900	5,360	460	320	330	10
スタジオ	2,600	2,638	38	85	47	△38
技術	1,500	1,574	74	75	72	△3
ネットワーク営業	1,300	540	△760	△125	△201	△76

3. 営業外費用（持分法による投資損失）の計上について

当社の持分法適用関連会社であるGクラスタ・グローバル株式会社や湖南快樂垂釣發展有限公司等の純損益を、当社の持分にに応じて取り込んだ結果、持分法による投資損失190百万円（前期1,070百万円の損失）を通期で計上いたします。

なお、このうち87百万円につきましては、平成27年8月13日発表の「営業外費用（持分法による投資損失）の計上に関するお知らせ」において開示の通り、当第1四半期に計上したものです。

4. 特別損失（減損損失）の計上について

当社及び当社グループの保有する事業用資産等のうち、一部資産につきまして減損損失を計上することとなりました。

デジタルシネマ事業において、子会社のデジタルシネマ倶楽部株式会社を通じて VPF サービスを提供しておりますが、必要な機材については、当社が資産として計上しております。当該資産についてその回収可能性を慎重に検討した結果、314 百万円の減損処理を行うことといたしました。

また、クラウドゲーム事業において売り上げの伸びが想定を下回っており、保有するソフトウェアの回収可能性を検討した結果、減損処理を行うことといたします。その通期での総額は 74 百万円となります。

上記に加え、その他の一部資産についても少額の減損処理を行い、通期での減損損失として総額 435 百万円の特別損失を計上いたします。

以 上

〈本件に関するお問い合わせ先〉 ブロードメディア株式会社 IR 担当 TEL. 03-6439-3983